

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年2月3日～2014年2月9日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年2月12日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### ▼アंकワブ「アブハジア大統領」とティビロフ「南オセチア大統領」がソチ五輪開会式に非公式に出席(7日)

・3日夕、南オセチア「当局」はティビロフ「南オセチア大統領」がソチ五輪開会式にプーチン露大統領から招待されていると発表。

・4日、ブリュッセルを訪問中のガリバシヴィリ首相は記者に、「万が一そのようなサプライズが起こった場合には適切に対処する」とコメント。

・5日、アバシゼ対露関係首相特別代表は会見で、ティビロフ「南オセチア大統領」は公式の招待者リストに含まれておらず、露政府と国際五輪委員会もその事実を確認したと述べた。

・7日、アブハジアおよび南オセチア「当局」はアंकワブ「アブハジア大統領」とティビロフ「南オセチア大統領」がソチ五輪の開会式に出席し、その後、ソチで会談を行なったと発表。ティビロフ「南オセチア大統領」はソチにてスルツキー露連邦院 CIS・ユーラシア統合委員会委員長とも会談した。

・7日夜、パンジキゼ外務大臣は、両人はロシアや国際オリンピック委員会に「公式に」招待されたのではなく、私人として出席したため、グルジア政府が「公式の反応を示すいかなる必要性もない」とコメント。

### 2. 外 政

#### ▼仏エクサンプロヴァンス市裁判所がケゼラシヴィリ元国防大臣の保釈を決定(3日)

・汚職を含む数件の容疑で国際手配されている「ケ」元国防大臣は、2013年10月14日以降フランスで勾留されていた。グルジア検察はグルジアへの送還を求めているが、「ケ」元国防大臣は政治的な動機による迫害と主張している。

・3日、エクサンプロヴァンス市裁判所は発信機のついた電子プレスレットを装着する条件で保釈を決定。2月27日に裁判所が送還について判断を下すまでフランス国外には出られない。

#### ▼ガリバシヴィリ首相がブリュッセルを訪問(3日～5日)

・「ガ」首相の訪問にはパンジキゼ外務大臣とペトリアシヴィリ欧州・欧州大西洋統合問題担当大臣が同行した。

・3日、「ガ」首相はバローズ欧州委員会委員長、フューレ拡大・近隣政策担当欧州委員、エッティンガー・エネルギー問題担当欧州委員、マルムシュトローム内政担当欧州委員と会談。

・バローズ委員長は会談後、グルジアの改革の継続の重要性を強調し、「グルジア政治における最近の重要な変化に鑑み、私は『ガ』首相に、健全かつ多元的な民主主義の証である政治的多元性とメディアの自由を守ることに注意を払い続けるよう求めた」と述べた。また、EU・グルジアの連合協定に「8月までには署名されることが願わしい」と発言。グルジア・ロシア間の対話が続いていることを歓迎。

・4日、「ガ」首相はファン・ロンパイ EU 大統領およびレンデルス・ベルギー副首相兼外務・貿易・欧州担当大臣と会談。ファン・ロンパイ EU 大統領は、EU とグルジアの双方に連合協定にできる限り早い時期に署名する用意があることを確認。同大統領が今後数カ月内にグルジアを訪問する予定であることが発表された。レンデルス大臣はグルジアの EU・NATO への加盟に対するベルギー政府の支持を再確認。

・5日、「ガ」首相はラスムセン NATO 事務局長と会談。「ラ」事務局長は会談後、NATO の「信頼し合った強いパートナー」であるグルジアは、NATO に更に近づいたが、「為されなければならないことは更に多い」と述べた。「昨年の自由で公正な大統領選挙を経て、今日、グルジアの民主主義は更に成熟した」と評価。9月はじめにウェールズで行なわれる予定の NATO 首脳会議の議題の詳細はまだ決まっていないとしつつ、「首脳会議ではグルジアの大きな前進が評価され、適切に反映されるものと信じている」と述べた。また、グルジアの紛争地域の行政境界線に沿ったフェンスなどの障害物の建設について、「21世紀は橋をつくる時代であり、フェンスをつくる時代ではない」と述べた。

#### ▼露に拘留されていたグルジア人「スパイ」が釈放される(5日)

・アバシゼ対露関係首相特別代表は、2008年8月の戦争後にロシアで拘束され、スパイ活動の容疑で8～9年の禁錮刑を受けていたグルジア人2名が既に釈放され、グルジアに帰国したと発表。同じ容疑でロシアで拘留されている他の数名についても早期に釈放されるよう取り組んでいると話した。

#### ▼ヤグラン欧州評議会事務総長がグルジアを訪問(6日)

・6日、欧州評議会による「対グルジア2013年～2015年行動計画」の開始を発表。2013年10月に欧州評議会閣僚委員会によって承認された行動計画は、人権、司法、矯正制度、選挙、メディア、統治、信頼醸成、寛容、反差別の分野の34のプロジェクトから成り、総額1700万ユ

一〇の規模。欧州評議会によれば、行動計画は「グルジアの法律、司法制度・運用を欧州評議会のスタンダードに合わせる」ことを目的としたもの。

・ヤグラン事務総長はマルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣らと会談。

#### ▼露メディアが露・グルジアの大統領会談の可能性について報道(7日)

・一部の露メディアが、ペスコフ露大統領府報道官の発言として、ソチでプーチン露大統領とマルグヴェラシヴィリ大統領の会談が行なわれる可能性について報じたことに関し、グルジア外務省は、「マ」大統領はソチ訪問を予定していないとして報道を否定。

#### ▼ソチ冬季五輪開会式(7日)

・フィシュト五輪スタジアムで行なわれたソチ冬季五輪の開会式において、グルジア人選手が入場行進した際、会場にグルジアの衛星地図が映し出されたが、南オセチアは隠れて見えず、アブハジアは雲のようなものに覆われていた。

・パンジキゼ外務大臣は、五輪の公式ウェブサイトにはグルジアの正しい地図が掲載されていると聞いていてとして「挑発とは考えない」とコメント。

・8日、アブハジアのガリ地区生まれでロシア代表として五輪に出場しているスキー選手マリカ・ペルタヒア氏の出生地が、ソチ五輪の英語版公式ウェブサイトに「ロシア、アブハジア共和国ガリ地区」と表記されていたことについて、グルジア五輪委員会が国際五輪委員会に問い合わせた。10日、表記は「グルジア、ガリ地区」と訂正された。

・ソチ冬季五輪にはグルジアからスキーとフィギュアスケートに4人の選手が出場する。

### 3. 内 政

#### ▼イヴァニシヴィリ前首相がNGOを創設(4日)

・「イ」前首相は首相を辞任後はじめて記者会見を行ない、NGO「市民」の活動の目的について説明した。主な活動目的として、メディアのプロフェッショナリズムを高め、国民が政府を監視する役割を支援することを挙げた。

・また、さまざまな分野のNGOが「市民」と密接に連携して活動できるよう、幾つかのNGOに対し、「イ」前首相の所有するカルトゥ基金からそれぞれ年間5万ラリの資金を提供する考えを発表。その一つとして、クビラシヴィリ元検事総長が設立した法律分野で活動するNGO「欧州の選択」を挙げた。

・記者からEUとの連合協定について質問され、「署名されることに寸分の疑いも持っていない」としつつ、国外のみならず国内にもグルジアの欧州との統合を妨げようとする勢力がいると答えた。

#### ▼国会が地方自治改革法案を採択(5日)

・賛成77名、反対7名により地方自治改革法案の最終読採択。改革案は今年行なわれる予定の地方選挙から、12の都市とすべての地区の首長を住民の直接選挙で選ぶとするもの。今後、焦点は選挙制度改革に移る。今年中に行なわれる予定の地方選挙の日程はまだ定まっていないが、7日、マルグヴェラシヴィリ大統領は「春の終わりに実施されるだろう」と発言。

・5日、青年法律家協会、Transparency International Georgia、「公正な選挙のための国際社会」は、共同会見を開き、与党派が地方選挙制度を改善する意志に欠けているとして、選挙制度改革のためにつくられた超党派委員会から離脱すると発表。

#### ▼アブハジア行政境界線付近で車から武器が押収される(7日)

・内務省によれば、ズグディディ地区トカイア村で不審な車が警察の停止命令を無視。車は警察の追跡を逃れようと速度を上げたが事故を起こし、乗っていた2名の男は逃走した。2名の身元は既に確認されている。乗り捨てられた車から、カラシニコフ突撃ライフル2丁、アンダーバレル・グレネードランチャーと手榴弾5個および大量の弾薬が発見された。

#### ▼囚人によるハンガーストライキ(8日)

・グリア地方ゲグティの刑務所で、看守らから虐待を受けたとして約1000人の囚人がハンガーストライキを開始。刑務所に機動隊が入ったと伝えられ、囚人の親族ら大勢の人々が刑務所を取り囲んだが、刑務所長は機動隊が入ったとの報道を否定。

### 4. 経 済

#### ▼2014年1月のインフレ率(3日)

・2014年1月の年間インフレ率は2.9%。前月より0.5%上昇。食料品(5.2%)、住居・水光熱費(8.9%)、アルコール飲料・タバコ(8.4%)が上昇。

・月間インフレ率は0.8%(前月1.5%)。

#### ▼フドン水力発電所の建設に向けた調査が中断される(4日)

・カラゼ・エネルギー大臣は、政府がスヴァネティ地方で建設計画を進めているフドン水力発電所に係る調査が、ハイシ村住民の強硬な抗議を受けて中断されたと述べた。

・6日、スヴァネティ地方出身のスバリ法務支援・矯正大臣が政府と住民の仲介役としてハイシを訪れ、住民と対話。スバリ大臣は「住民の意思を最大限に考慮する」と述べた。

### 4. その他

#### ▼寒波(3日)

・1月末から全国で真冬日が続き、各地で大雪となった。首都トビリシでは3日夜にマイナス14度を記録。